

2011年度 事業計画

2011年5月23日

特定非営利活動法人ユーラシア21研究所

1 事業目的

2011年度においては、ロシア語による情報の発信として、ロシア語のウェブサイト新たに話題性の高い記事をタイムリーに掲載する等更なる内容の充実を積極的に図るほか、ロシアとの交流事業の円滑な実施及び安全保障問題を中心とした次世代の若手研究者の育成により一層の力を注ぎ、当研究所の客員研究員の力を結集した総合的視点からの日露関係を議論する討論会を開催するとともに、広く一般市民への情報の発信の一環として開催している虎ノ門フォーラムの内容のより一層の充実を努めることとする。

これらの諸活動を通じて北方領土問題の解決と日露平和条約の締結という国是の進展に寄与することを目的とするものである。

2 事業目標

ロシア語による情報の発信やロシアとの交流事業の促進などの事業を通じて、わが国における民間レベルの対露外交チャンネル確立に努めるとともに、ロシアとの活発な学术交流の輪を広げ、より多くの専門家に研究と議論の場を提供して、政府に対する北方領土問題、ロシア及び極東地域安全保障問題に係る政策の提言や広く社会に問題提起を行える更なる体制整備と当研究所の知名度と影響力の向上に重点を置く。

3 事業計画の内容

2010年度に実施した各種事業の成果を踏まえて、法人としての更なる体制の整備を推進するほか、情報の蓄積と発信に鋭意努めるとともに、客員研究員の力を結集して当研究所の事業を内外にアピールした事業展開を図ることとする。

3-1 日露関係の新たな発展のための調査研究の推進（日本財団助成事業）

(1) 基盤整備

理事長、常務理事、事務局員2名、計4名の常勤のほか、客員研究員（非常勤、無給）100名体制と現有事務所を維持するとともに、鋭意会員の増加に努め、事務局運営基盤の強化を図る。

また、在日関係者や関連専門家等との懇談を行い、これらを通じて情報の収集と当研究所の認知度の向上に努める。

(2) 事業

① ホームページの運用とロシアへの情報発信

ホームページの画面構築の更なる改善を図り、話題性の高い記事を掲載する欄を設けるほか、若手の専門家の記事を掲載するなど内容の充実と親しみやすい画面構成の構築に努め、ロシアからのより一層のアクセスの増加を図る。

② 次世代関連研究者の育成

前年度に引き続き学生・若手社会人を中心とした外交・安全保障問題に関する勉強会（コモン国際情勢研究会）を月例で開催する。また、秋季には外交・安保サマーセミナーを開催する。これらの勉強会を通じて、ベテラン研究者から若手への知識の委譲に努める。

3-2 一般（自主）事業

(1) ロシアならびに日露関係に関する研究

（旧名称：日本人の専門家による学術調査研究）

① ロシア研究会（年間10回開催）

委員長：吹浦忠正（当研究所・理事長）

委員：当研究所の理事を中心に10名程度

研究内容：ロシアの政治経済などあらゆる分野の情報分析と意見交換を行う。

② 領土問題研究会（年間6回開催）

委員：領土問題各種専門家及び北方領土関係者等10名程度

研究内容：わが国に関わる領土問題、とりわけ北方領土問題について最近の動向を把握し、返還運動や、わが国がとるべき外交の方針を献策する。

③ 客員研究員討論会（年2回開催）

出席者：当研究所の客員研究員及びテーマ毎の有識者

討論内容：わが国の政治、外交、安全保障及び領土問題ならびにその他の関連事項

(2) ロシアとの学術交流

① 新しい日露関係・専門家対話（2011）

開催時期：未定

開催場所：東京 日本財団ビル会議室（予定）

参加者：日本側 ロシア・領土問題等専門家等20名、事務局1名
ロシア側 ロシアの対日関係専門家等10名

① 新しい日露関係・専門家対話（2012）

開催時期：2012年3月頃 2日間開催予定

開催場所：モスクワ（予定）

参加者：日本側 ロシア・領土問題等専門家等10名、事務局1名
ロシア側 ロシアの対日関係専門家等20名

② ウラジオストク・フォーラム（2011）

開催時期：2011年9月頃 2日間開催予定

開催場所：東京 日本財団ビル会議室（予定）

参加者：日本側 ロシア関係専門家等20名、事務局1名
ロシア側 ロシアの対日専門家等10名

(3) 虎ノ門フォーラムの開催

広く一般市民を対象に、ロシア問題、領土問題、安全保障問題などをテーマとした虎ノ門フォーラムを開催する。

また、前年度に引き続きフォーラムは有料（学生は無料）とするほか、フォーラム会員の増加に務める。

(4) 関係先等への協力

① 虎ノ門政治外交懇話会

坂本正弘氏（日本戦略フォーラム副理事長、元中央大学教授）と当研究所理事長を代表世話人とする「虎ノ門政治外交懇話会」の事務局を当研究所が引き受け、年間10回程度開催する。

② メコン流域研究会

阿曾村邦昭氏（国際吉備大学教授、元駐チェコ大使）主催の「メコン流域研究会」の開催場所として当研究所の事務所を提供する。

同研究会は毎月1回開催される予定である。